

22th 百草冬百種展

「雑貨と古道具」

倉敷意匠の40年とアチブランチの10年を振り返って」

2022.1.22 sat.～2.6 sun. (close / 1.25 tue., 2.2 wed.)

11:00 ～ 18:00

(scene 1)

倉敷意匠のプロダクト

主な出品内容は、インスタグラム @atiburanti にてご覧いただけます。

店主在廊日 / 1.22 sat.,1.23 sun.

(scene 2)

作家とのしごと | 富沢恭子「檻樓とかばん」

作家在廊日 / 1.22 sat.

(scene 3)

古道具「神々とその周辺」

主な出品内容は、インスタグラム @shinsuke.tanabe にてご覧いただけます。

店主在廊日 / 1.22 sat.,1.23 sun.

(scene 4)

出張 Café gewa | 1.22 sat・1.23 sun ももぐさカフェにて

Café gewa といえば、モーニング。

そこでギャラリーが始まる1時間前、ブランチのようなモーニングを召し上がってから、お腹を満たしてゆっくと展示をご覧頂けたらと。また小腹が空いた頃に、コーヒーのための一皿と共にドリップコーヒーを。

◎モーニング、そしてランチのコースをご予約制で。

◎前後の時間帯は、オオヤさんによるネルドリップコーヒーを供するスペシャルなコーヒータイムとなります。

・モーニング (予約制) 10:00 ～ 11:00

・ランチ (予約制) 12:30 ～ 14:00

※詳細はホームページにてお知らせいたします。

・コーヒータイム 11:00ー12:30 14:00ー18:00 (17:30 オーダーストップ)

※珈琲豆、道具の販売もごございます。

●ももぐさカフェ / 1.24mon～2.6sun (1.25tue2.5wed は休日)

軽食とお飲物をご用意いたします。

11:00-18:00 (L.O 17:30) メニュー・席の予約不可

表紙写真

雨の日人形 / にしおゆき × 下川原焼 阿保正志

土馬 / 飛鳥～奈良時代 (7～8 世紀) 雨乞いなど、水に関わる祭祀に使われたもの。

雑貨と古道具 百草冬百種展



今年も宜しく願い致します。

百 草

岐阜県多治見市東栄町二一八一十六

ギャルリももぐさ

営業時間 / 十一時～十八時

休業日 / 一月二十五日(火)・二月二日(水)

二〇二二年一月二十二日(土)～二月六日(日)

◎ ご挨拶

今年の年初めの展覧会、百草冬百種展では、「倉敷意匠計画室」創業40周年 / 「アチブランチ」10周年を迎えたタナベシンスケさんのお仕事「雑貨と古道具」をご覧いただきます。

雑貨、製品に特化した「倉敷意匠計画室」、より強いタナベさんの個人的な思い入れやメッセージを伴う「倉敷意匠分室」。これまでに計画室11冊、分室13冊、その他10冊、計34冊もの紙製のカタログ(近年はwebカタログ)を作り、製品化とともに必ずご自身のメッセージと背景を伝えて来られました。一つ一つの製品には、それを作りたいと思ったタナベさんの動機があり、その憧憬の元になるのが、古道具であり職人仕事であり作家やアーティストのしごとなのです。

百草セレクトでご紹介する倉敷意匠の雑貨たちを、一部ではその背景とともにご覧いただき、雑貨たちが自分や誰かを喜ばせ、クスッと笑う平和なひとときをもたらしてくれることを願って。また選び使うことが、産地や職人仕事の継続になることもお伝えしたい大切な事です。普段私共のオリジナル製品では素材色や白、地味色、装飾なし、という素っ気ないものですが、コロナ禍に明るい気持ちを届けたく、お年玉を握り締めてお店に向かった頃を思い出し、楽しんでいただきたいと思います。

そして作家・アーティスト分野から富沢恭子さんのお仕事、タナベさんの古道具ワールド、と盛りだくさんの企画にご期待ください。

百草 安藤明子

◎ Café gewa のこと

「倉敷意匠アチブランチ」を、昭和9年建築の木造3階建ての洋館「林源十郎商店」の1階スペースにオープンされることになった当時のこと、建物の一角にスタンドカフェをと、タナベさんからの熱い誘いに、オオヤコーヒのオオヤさんがオープンされた、「Café gewa (カフェゲバ)」。船上のような基地のような厨房を囲んで好きなところでいただくカウンターからの大好きな景色。店長さんスタッフさんの働く姿に厨房道具や食器類。芳しい香りを漂わせ出来上がってくる、どれも美味しいトーストやワインにも合う一皿、毎食いただきたいくらいのカレーなど、オオヤコーヒの美味しさを無限大に楽しませてくれる、大好きなお店。今回、ももぐさカフェにて初日と2日目の土日、出張Café gewaの夢が叶うことになりました。



ぼろ 「襦袢とかばん」

ここに“たどり着いた”その布には、時間と祈りがぎゅっと詰まっている。圧倒的な存在感に反して手にとるとやわらかく、じっと見ているとなんてやさしい布仕事だろうと感じます。

今回襦袢と並ぶかばんを作るとき、手にした時のこの感覚と温もりを引き継ぐようなものになりたいと思っていました。

そこであえて色味や世界観ではなく、その時代の人々の身を守ってきた衣服の「つくり」に目を向けてみました。紙工作のように組み立てられた型を見ながら手を動かしていたら、不思議なリズムを持った布のふくろができました。

それに持ち手を縫いつけただけのようなささやかなかばんを作ります。旅をしながら集めてきた手織りの布で仕立てる1点もののかばんたち。使い込んでいったその先に、襦袢に宿ったやさしさのようなものを感じてもらえたらうれしいです。

富沢恭子
(柿渋染め作家/sunui)



萩原朋子 × Classiky
炭化花器「空映す町」・「伝言」



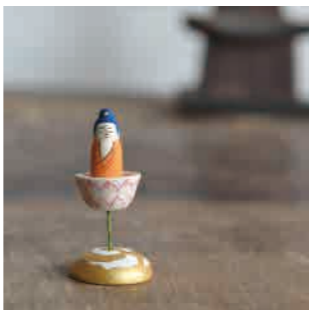
点と線模様製作所 × Classiky
刺繍ピンクッション「リス」



Classiky
栗のソーイングボックス



原田和明 × Classiky
オートマタ「NUDE」



Ω社 × Classiky
木玩「極楽」



トラネコボンボン × Classiky
犬の楕円皿



BAILER × Classiky
ショルダーバッグ 7L 赤ライン



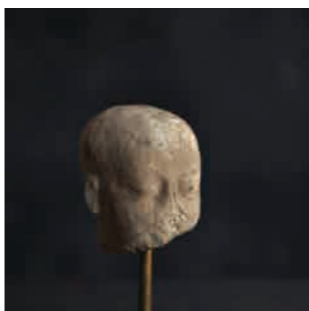
ナンシー関 × Classiky
女子学生手帳



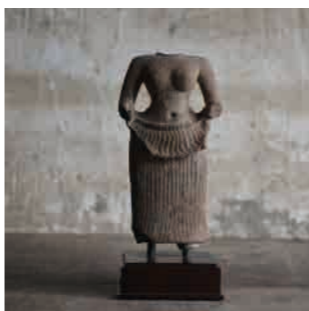
木彫男神像 平安時代



板絵イコン「聖母マリア」
18世紀ロシア正教



古代エジプト 神官頭部残欠
紀元前 1000 ～ 500年頃



クメール 石彫女神像
10～11世紀 アンコール王朝期



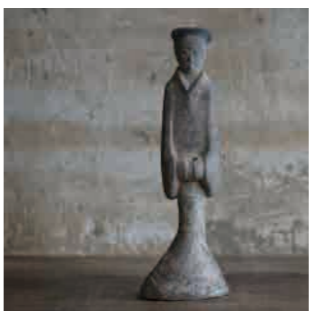
リモージュ 鍍金七宝キリスト磔刑像
13世紀フランス



モバ族 木彫像 トーゴ 20世紀初頭



厨子 江戸～明治時代



漢 加彩 女子備 中国 漢時代



特別出陳 晴れても「雨の日みくじ」

せっかくの倉敷なのに雨降りでがっかりの旅行者に、雨だからこそのお楽しみが何かないと始まったアチランチ名物「雨の日みくじ」。百草さんでの展示会期中は特別に、晴れても「雨の日みくじ」を解禁いたします。

「おるがん社」にしおゆきさんの雨の日人形がもれなく当たりますのでお楽しみに。にしおゆきさんのくぐらなくもありがたきお言葉入り。

「神々とその周辺」

日本の神道美術、中世・近世のキリスト教美術、古代エジプトの副葬品、精霊と共に生きた 20 世紀アフリカの土俗的信仰の造形、そして縄文時代の遺物など、約 170 点を展示販売いたします。

タナベ シンスケ 略歴

- 1961年 岡山県倉敷市生まれ。
- 1981年 シルクスクリーン印刷工房として創業。
- 1987年 有限会社倉敷意匠計画室設立。
- 2001年 倉敷意匠計画室の別ブランド「倉敷意匠分室」を始める。
- 2006年 倉敷意匠分室カタログ「職人仕事の日本」を発刊。
- 2012年 直営店「倉敷意匠アチランチ」をオープン。
(2021年にて直営業務を終了し、2022年2月より第2期「アチランチ」として独立開業。)
- 2021年 有限会社倉敷意匠計画室 代表取締役を辞任。
(以降は、企画部門にのみ従事。)
- 2022年 古美術店「画室」をオープン予定。